



業計画と収支予算を承認した。

冒頭、挨拶に立った秋庭雅夫副会長は、「かつてのマテハンは、生産・流通が主役だったが、

日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会(会長・竹内克己)ダイフク会長)は23日、東京・千代田区の日比谷松本楼で第52回通常総会を開き、平成19年度の事業報告と収支決算報告、20年度の事

マテハンの必要性をアピール

日本MH協会総会

現在は客が買ったものを埋める、つまり需要からの、ひっぱり方式に流れが変わった。こうした多品種・小ロットの要請に応えるにはマテハンがないとできない。マテハンの必要性を協会としてもアピールしていく」と述べた。

20年度の活動方針は、①行政施策支援事業の推進②研究会・顕彰制度・経験交流活動・機関紙発行など各種会員サービスの推進③マテハン技術者の育成並びに人材育成プログラムの策定推進④主催展示会内容の充実と展示会のあり方検討⑤海外有力マーケットの調査、海外関連団体との連携強化——を重点的に推進する。

当日は、第2回日本MH大賞の受与式も行われ、TCMの「ハイブリッド式トランスファークレーン」が大賞を受賞し、優秀賞はカナツの「カスタマイズ台車」と、不二輸送機工業の

JMHS

Japanese Material Handling Society

NEWS

2008.6 日本MH協会



▲MH大賞を受賞したTCMのハイブリッド式トランスファークレーン

を貯え、それを上昇時や走行時に用いるというハイブリッド方式の採用に至る研究開発過程や資用的・環境的に大きな効果が期待できる点が評価されました。

【ハード部門・改善合理化部門】

不二輸送機工業のボトル型のインケーサーについて、切替の時間や手間、ボトル回収機会の排除など、現場での問題点について着実に改善を加え、大きな成果が期待できる点が評価されました。

【ソフト部門・研究開発部門】

ユービーアール社は、流通するパレット未回収の大部分がパレット所在位置が掴めないことに起因しているという事実から、PISを用いて、屋内にあるパレットを含め、その存在箇所や流れを把握し、それによりパレットの未回収を減らす工夫が評価されました。

【日本MH大賞】

以上4つの優秀賞の中から、日本MH協会が推進しているMHによる環境貢献の方針にも適合する「ハイブリッド式トランスファークレーン」が大賞に選ばれました。

日本MH大賞選考経過について

選考委員長 秋庭雅夫

(日本MH協会 副会長 東京工業大学 名誉教授)

日本MH大賞の選考について報告いたします。

日本MH大賞には、MHシステム・機器に関するハード部門と、情報システムに関するソフト部門があり、それぞれが研究開発と改善合理化にわかれます。審査委員会では応募された内容について、経済性・合理性・独創性・安全性・社会的貢献性・将来性などについて審査を行い、各部門で優秀賞を選出し、その中から大賞をさらに選定いたします。

今回はハード部門とソフト部門で合計8件の応募がありました。4月9日の審査委員会で順次審査を行いました結果、以下の4件が受賞と決定しました。

●ハード部門：MHシステム・機器

①研究開発部門：優秀賞

カスタマイズ台車：御カナツアー

ハイブリッド式トランスファークレーン：TCM機設

②改善合理化部門：優秀賞

多機能ハンドケーサー：不二輸送機工業機設

●ソフト部門：情報システム

①研究開発部門：優秀賞

“なんつい” (PIS位置情報端末) を利用したパレット動
態調査システム：ユービーアール機設

②改善合理化部門：該当なし

●日本MH大賞

ハイブリッド式トランスファークレーン：TCM機設

【ハード部門・研究開発部門】

カナツアーは台車に関する顧客のさまざまな要求に応える機
能開発や、見る眼に訴えるアピールなど興味深い技術的な提
案が評価されました。TCMでは、クレーンの下降時に電力

MH協会 「日本MH大賞」 TCMが受賞

日本マテリアル・ハと発表。

ンドリング協会（日本MH協会、竹内克己会長、東京都中央区）は五月二十三日、通常総会を開催した。

活動方針では、品質保証や安全性確保、省エネ推進、環境問題への対応など、ニーズに対応する新たなマーケット拡大に努め、推進する活動などを協会内の各委員会で進める

活動の一つとして総会終了後には「日本MH大賞」受賞者（社）を表彰した。ハード部



門の研究開発では「カスタマイズ台車（カナツー）」「ハイブリッド式トランスファクレーン（TCM）」の二社が、同部門改善合理化では「インケーサー設備による操作性の向上・多機能ハンドケーサー（不二輪送機工業）」が、またソフトウェアの研究開発では「パレット動態調査システム（ユーピーアル）」の計四社が受賞した。

なお、この四社の中から同協会推進の環境

貢献方針に適合するとして「ハイブリッド式トランスファクレーン」に大賞が授与された。（小澤 裕）

日本MH大賞はTCM

日本MH協会

第52回通常総会を松本楼で開催



授賞式で賞状を贈る中野と大賞受賞者
左二番目から順に、中野、大賞受賞者

日本MH協会(中野)は、5月23日、松本楼にて第52回通常総会を開催し、大賞を受賞したTCMを表彰した。

授賞式では、中野が「大賞を受賞したTCMを表彰する」と述べ、特別賞として「TCM」を授賞した。授賞式では、中野が「大賞を受賞したTCMを表彰する」と述べ、特別賞として「TCM」を授賞した。

授賞式では、中野が「大賞を受賞したTCMを表彰する」と述べ、特別賞として「TCM」を授賞した。授賞式では、中野が「大賞を受賞したTCMを表彰する」と述べ、特別賞として「TCM」を授賞した。

授賞式では、中野が「大賞を受賞したTCMを表彰する」と述べ、特別賞として「TCM」を授賞した。授賞式では、中野が「大賞を受賞したTCMを表彰する」と述べ、特別賞として「TCM」を授賞した。

授賞式では、中野が「大賞を受賞したTCMを表彰する」と述べ、特別賞として「TCM」を授賞した。授賞式では、中野が「大賞を受賞したTCMを表彰する」と述べ、特別賞として「TCM」を授賞した。

◆日本MH大賞決定

日本マテリアル・ハンドリング協会（MH協会、東京都中央区、03・35543・9335）

第2回日本MH大賞にTCMの「ハイブリッド式トランスファクレーン」

を選定した。クレーンの下降時に電力を蓄え、上昇や走行時に使う方式が費用、環境面で評価された。ハード部門・研究開発優秀賞はカナツ（東

京都千代田区）の「カスタマイズ台車」、同部門

・改善合理化優秀賞は不二輸送機工業包装機グループ（東京都千代田区）の「多機能ハンドケータ

ー」、ソフト部門・研究開発優秀賞はユーピアール（東京都港区）の

「なごみ」（PHS位置情報端末）を利用したパレット動態調査システム」が受賞した。